

# KBS

## ケイビーエス株式会社

# 날



# 7H

# 23

発行:ケイビーエス株式会社

編集長:高允樹 / 副編集長:太田晶子

編集:KBS企画部

〒544-0033 / 大阪市生野区勝山北2-16-17 / 電話06-6716-5665 / FAX06-6711-2104 / E-mail:kbs@kbsjapan.com



# 多言語、万里を駆ける。

中国旅行をした。駆け足の旅行ではあったが、やっぱり百聞は一見に如かず、とはよく言ったものだ。聞くと見るでは本当に違う。

5月のはじめ頃、韓国にいる友人から中国へ行こうと誘われ、オーケーと簡単に応じて行くことになった。韓国のロッテ観光のツアーに参加した。上海から、蘇州、杭州、桂林、西安、北京へ、ぐるりと中国の代表的なところを見廻ったことになる。

感じたことは、壮大だということ。なにも国土の広さを言うのではない。やるのがどでかいということだ。例えば秦の始皇帝、この皇帝は50歳で亡くなったのにその生きている間にいろいろと、えらいどでかいことを成し遂げている。兵馬傭のようなものをつくったり、万里の長城、これはすごい! 高い山のてっぺんに、あんなものが建てられるなんて、いったい、どこからそんな力が出てくるのだろう。それから西太后、自分が休むための公園をつくってあるのだが、そこにある湖が琵琶湖の半分ぐらいの大きさではないかなあ。

日本には中国人旅行者がたくさんいる。たくさんいるように見える。しかし、実際は昨年の統計によれば韓国96万人、台湾87万人に対して、中国は45万人である。

それぞれの人口に比べれば中国は少なすぎる感がある。それもそうなんだ。実は中国人に対しては観光ビザが認められていない。そう、中国からは日本に来るためには、留学とか、ビジネス、または親族訪問で来るしかない。

これが、こんど団体旅行に限ってビザなしで日本観光が認められるとのことだ。そのうち近い将来、観光ビザもオーケーになるはずだ。そうなってくると、中国と日本の交流はますます活発になる。

もうひとつ、中国旅行で感じたのだが、中国には印刷物が少な過ぎる。日本でならば、パンフレットや地図等いやというほど、いろいろな種類のものを配ってくれる。

ということは中国ではこれからなのだ。印刷物一つ見てもこのような状態なんだから、あらゆる物に可能性があることが考えられる。多くの人々がいる。この人たちが経済的に豊かになってくるにつれて経済効果は計り知れない。

もうすぐ21世紀、この21世紀が楽しみだ。その時はアジアがもっと発展して、世界の中心になっているかもしれない。

高仁鳳 (ko inbong)

# コラム 板門店にて



「このテーブルの向こう側は、北朝鮮です。どうぞ、足を踏み入れて下さい」。板門店の、あの有名な軍事停戦委員会の会議場。女性ガイドに言われ、妙な違和感を覚えた。この分断線は半世紀の間、鉄の意思をもって、人々を隔ててきたのだから。(写真1)

新聞記者をしている私は、7月末に韓国に旅行し、板門店日帰りツアーに参加した。ソウルから、わずか40キロ。バスで幾重もの有刺鉄線や壁のパリケードを抜け、たどりついたのが、青壁の会議場だったと、いうわけだ。

向こう側では、双眼鏡をのぞく北朝鮮兵士。「刺激するといけませんので、手を振ったりはしないで」とガイドさん。

私も持参した双眼鏡で“応戦”したが、目が合った気がして反射的に双眼鏡を外した。私の気が弱いのか、そんな緊張感なのである。

会議場の中では、なぜか行き来は自由。屈強な韓国兵の横を通ってテーブルの向こう側に行くと、「遠くに来たんだ」と実感した。他の日本人観光客は、無邪気にも兵士と並んで

写真を撮っていたが。

近くの高台からは、北の大地が眼下に広がり、畑仕事をする農夫が見えた。「山に木が少ないでしょ？。石油燃料がないから、冬は薪にして体を温めるんです」とガイドさんが言う。ソウルでは、若者たちがゲームセンターで、音楽に合わせてステップを踏む日本と同じゲームに興じているというのに。この現実！！。

「板門店はもはや、必要ない」と、板門店のあのテーブルで決めることができるのはいつの日か。単純かも知れないが、その日の取材に備え、言葉を勉強することにしたのである。

最後に、この旅ができたのは、私を韓国に「引きずり込み」、板門店ツアーの予約を下さった高社長のおかげです。重ねて感謝いたします。

++++

韓国入りは、ブサンからだった。夜の屋台に行った。これはすごい！私の心をうきうきさせた。(写真2)

廣瀬和勇(読売新聞社会部記者)



ブサンのズラーと並んでいる  
ポジャンマチャ(屋台)

# 藤井寺球場に 捧ぐ。 Mac部 高允樹



6月23日、降りしきる雨の中でひっそりと藤井寺球場最後の試合が行われた。

観客は5000人。平日で相手がロッテ、さらに悪天候では無理もないか。

途中の2度の中断時にぞろぞろと帰っていく客も多かったのも、最後は2、3000人ぐらいまで減っていただろう。

試合は狭い藤井寺らしく4本塁打が飛び出す乱打戦となり、最後は山がサヨナラヒットを打ち10-9でけりが着いた。

僕は小さい頃から近鉄が好きだったが、藤井寺に行くようになったのは大阪ドームに本拠を移す前年からだ。

皮肉なことに、近鉄は大阪ドームに本拠を移してから、年に数試合組んでいた藤井寺の試合では1度も負けなかった。そのおかげも

あって、最後の試合も入れて藤井寺観戦歴は6戦全勝で幕を閉じることとなった。

このところ、たて続けに日生球場、大阪球場とパリーグの古き良き時代を支えてきた舞台が取り壊され(もっとも大阪球場はとっくに本来の役目を終えてはいたが)大阪では藤井寺を残すのみとなった。

藤井寺はどうやらこの先も2軍の試合で使われ、取り壊されることはない。どうせ残すのなら、年に1試合だけでも1軍の試合もやってほしいものだ。

藤井寺で見た理由は、ただ単に相性がいいだけではない。

藤井寺のブルペンには外野席のすぐ前にあり、バックネット裏に座らずともプロの球を間近で見ることが出来た。ラッキーゾーンが

マック部 稲本の

## おすすめサイト

まず最初に紹介したいホームページ(以下HP)は、かなり有名だが「日刊スポーツ」のHP。スポーツ新聞と言えば目を引く為に一面に趣向をこらした物が多く、このHPはその一面が見ることが出来る。また、この新聞は関東版なので、関西では阪神が一面に載っていても、このHPの一面は全然違うものだったりするのも面白い。その他の読み物もなかなかするどい物が載ってる。もちろん、関西版の一面や記事も見ることが出来る。

同じ新聞系なら、サンスポの「ZAKZAK」もオススメだ。こちらは、朝・昼・夕と1日に3回更新されるので、いつでも新しい記事が読める。日刊は真面目な記事が多いが、サンスポは芸能関係が多いので、好みに合わせて選ぶとよいだろう。

今年から、プロ野球オールスターゲームのファン投票がインターネットから出来るようになり、毎日1回の投票となるが好きなチームや選手に毎日投票してオールスターに導くことも可能になった。

私は関西でも珍しいドラゴンズファンだが、関西で肩身の狭い思いをしている、ドラゴンズファンにたまらないのが「HOSHINO EXPRESS」だろう。毎日(移動日でも)星野監督のコメントが載っており、ファンの質問に監督みずから答えるというコーナーもあって、ファン必見の内容となっている。質問はメールで送り、毎週監督が答えるという形をとっていて、ドラゴンズファンでなくても質問してみる価値あり!!!

現在のアメリカはオンラインショップが買物のかかなりの割合を占めていると言われていたが、決算の問題などもあり、日本ではまだまだ普及していないのが現状だ。そこで一足お先にオンラインショッピングを体験した

い方は、Yahooの「Let's TRY! Online Auction」がいいだろう。このHPはショッピングといっても、欲しい商品をただ買うだけでなく、オークション形式に落札する形を取っており100円からベツ出来るようになっている。まだ始まって間も無いので、新しいパソコンをゲットしたい方は、今がチャンス!もしかしたら、パソコンが100円で買える.....かも。ちょっとしたゲームやフリーソフトを手に入れたいのなら、「ベクターソフトニュース」がオススメ。こちらは、水曜日と土曜日に更新されるので、すばやくお手軽にしかもタダ(一部お金もかかる物もある)でソフトが手に入る。圧縮・解凍ソフトは、もちろんの事、麻雀やパズルなど仕事の合間にちょっと息抜きしたい時に出来る物まであり、どれも「これがタダなのか?」と思えるほどの秀作ぞろいだ。

チケットやイベントの最新情報を手に入れたい方は、「ぴあ」のHPがオススメだ。同名の本よりは情報量が少ないが、大体は押さえであるのでHPを見て、興味のある記事が

載っていたら本を買えば、節約になるかもしれない。情報系なら、「関西ウォーカー」などが載っている「Walkers Net」もある。その場所に密着したタウン情報が載っているので、そこへ旅行や出張に行く人は、チェックしてから行けばおいしい店やたのしいイベントなどにめぐり会えるかもしれない。

関西の映画好きなら、「関西ムービースポット」がいい。HPの中身はすっきりシンプルな作りとなっており、好感が持てる。項目は「独断映画アンケート」「アンケート回答集」「上映中の映画」の3つしかないが、「独断映画アンケート」は、自分の見た映画の論評がHPに送れる仕組みになっており、送った論評は「アンケート回答集」に掲載される仕組みになっている。「上映中の映画」は、メジャーなタイトルしか載っていないので「マイナーな映画が好き!」というファンには物足りないが、私の様に話題作しか見ないミーハーファンには十分だろう。ここには、放映してる映画館とタイムテーブルが載っているので、映画を見に行く前にチェックを入れておけば大いに役立つ。

最後に、KBS ホームページも忘れずにね。

「http://kbsjapam.com」  
上記掲載アドレス

「日刊スポーツ」  
http://www.nikkansports.com/

「サンスポ ZAKZAK」  
http://www.zakzak.co.jp/

「HOSHINO EXPRESS」  
http://www.hoshino.ntc.ne.jp/

「Let's TRY! Online Auction」  
http://www.yahoo.co.jp/docs/ad/onsale/

「ベクターソフトニュース」  
http://www.vector.co.jp/magazine/softnews/index.html

「チケットぴあ」  
http://www.pia.co.jp/

「各種ウォーカー」  
http://walkers.channel.or.jp/index.html

「関西ムービースポット」  
http://www.yo.rim.or.jp/~yamaco/index.htm



あった頃の甲子園のような感じが、身近かさはあれの比ではない。

そして、なんといっても見やすい。大阪ドームがあまりにも見にくいために余計にそう感じるのかもしれない。大阪ドームの外野

スタンドのなんと死角の多いことか。フェンス際の打球は、まったく見えない。そう、ギリギリ入ったホームランもしばらく経たないと入ったかどうか分からないのだ。大阪ドームの目玉のひとつであろう、大きなスコアボードも最前列が2階席にでも座らない限り、外野席からは見えない。

すべてのホームグラウンドを見て回ったわけではないが、この外野席の扱いの悪さは12球団中ワーストだと思う。

観客動員もドーム元年こそパリーグ2位まで躍進したが、翌年以降は大きく下降線をたどっている。もちろん、ドーム見たさにわかファンが来なくなったことが一番の理由か

もしれないが、この外野席の見にくさがファンの足を遠ざけていることは間違いない。

横道にそれてしまったが、詰まるところ巨額を投じたドーム球場も「野球を楽しむ」という点では、来年から使わない藤井寺球場に劣るということだ。

とはいえ、設備などはドームとは雲泥の差。プレイする選手にはかなり不評だったり、グッズの売れ行きや、プロ野球全体のドーム化への流れを見てもやむを得ないところだろう。

これから先は、次代を担う2軍の選手や高校球児の飛躍する場として、未永く活躍することを願うばかりである。

# ジャングルに行く

マック部 高 允 哲

最近私は、かなり大規模な作戦を続けて実行した。昨年の年末には西表島横断、5月には屋久島の縄文杉までの登山である。本格的に登山をされる方にとって、この2つはさほど困難ではないだろうと思う。しかし私は地図の見方やコンパスの使い方もあまりよくわからないドロウトであり、恐ろしいことに極度の方向音痴でもある。(先日も箕面で3時間コースのハイキングをしたが、なぜか8時間以上かかってしまった。なんでだろう?)ともあれ、この2つの(私にとっての)大作戦の顛末を簡単に記しておきたいと思う。



## 西表島横断作戦

昨年の暮れ、私と友人は西表島にいた。実は夏にも来ている。夏に来た時と同じキャンプ場で夜、翌日からの横断作戦の計画を練っていた。キャンプ場はその年の夏に比べて人も少なく、また、いくら亜熱帯気候といっても年の暮れ、半袖のTシャツでは少し肌寒く、さらに照明はロウソクのみという一種異様な雰囲気の中で話し合いは続いた。当初、我々はこの作戦を1泊2日行程で行うと想定していた。しかし、1泊するとうとう荷物が多すぎて持てないくらいに重くなってしまったのである。私の場合、その重さのほとんどはカメラの機材である。それだけでもかなり重い。友人にしても訳の分からないモノで

既にものすごい重さになっている。その上テントやら寝袋やら食料やら持っていったら途中で歩けなくなってしまうだろう。この時点でかなりシロウト丸出しである。我々は必要最小限の食料と装備で日帰り行程で挑むことにした。もっとも、ガイドブックには徒歩で7~8時間と書いてあったし、十分行けそうな気はしていた。



## いよいよ出発

翌日の朝、我々は浦内川の観光船で上流へとさかのぼった。船着き場で下船、マリウドの滝、カンビレーの滝を経ていよいよ横断コースに入った。とてもない道だった。ある程度は予想していたが、ほとんどケモノ道である。たまにある営



マングローブの森

林局の看板と、木の枝に貼ってある赤や白のビニールテープを頼りに進む。もちろん道は舗装されていない。しかも歩く人が少ないから、所々で行き止まりのようになっていく。我々は慎重にビニールテープを確認しながらゆっくりと進んだ。いや、ゆっくりとしか進めなかった。川の支流をザブザブ渡り、崖に吊してあるロープをのぼり、倒木をまたぎ、くぐり抜け、休憩をとりながら進んだ。親切なことに、たまに大富(最終目的地)まで何kmと表示してある立て札がある。何度かその立て札を見ているうちに私は愕然とした。大富までは10数kmくらいなのだが、我々

## ~ 西表島で見かけた生き物 ~

西表島にはたくさんの珍しい生き物が住んでいる。シダのパケモノのようなヒカゲヘゴ、巨大な板根を持つサキシマスオウノキ、岩の上をピョコピョコ動き回るハゼ、引き潮になるとワンサカ現れるコメツキガニ。そしてなんととっても鋭い眼差しで獲物を狙うカンムリワシ。カッチョエエ。次はイリオモテヤマネコを見てみたい。



ヒカゲヘゴ



ハゼの仲間



サキシマスオウノキの板根



ミナミコメツキガニの群れ



カンムリワシ

のペースは1時間に1kmも進んでいないのである。(日帰りでは無理だ)と私は悟った。友人は気づいていないようであるが、あえて話さなかった。歩いている内にこの道のパターンが読めてきた。基本的に浦内川を遡っていく道で、先ず登り、そして下って川に出る。それを渡るとロープが垂れているか、急な上り坂である。これの繰り返しである。川を渡った後が危険で、目印のビニールテープを見失いやすい。夜は過ごしやすかった



かなり広い浦内川も遡っているうちにこんなに狭くなった。

この島の気候もさすがに昼間は暑く、我々の体力をどんどん奪っていた。それでも川の水がすぐに手に入るのがすごくありがたかった。お互いを励ましあい、妙な歌を歌って疲れを紛らわせながら進んだ。午後4時。歩き始めて約6時間、それだけ歩いても全行程の約半分も進んでいなかった。さすがに友人も日帰りは無理ということに気づいており、何度か目の休憩の時、今日は何とか第一山小屋跡まで行って、そこでピバークしようかと話し合った。その時には既に私は(こんな重たいカメラの機材を持ってくるべきではなかった)と後悔していた。我々の進むのが遅い理由の第一はなんといってもこの重い装備である。最初は平気だったその重さもだんだん拷問のように思えてきた。それでもたまに立ち止まって写真をとっている私の姿を見て友人はかなりあきれていたようだった。午後6時。第一山小屋跡にはまだ着かない。辺りはかなり暗かった。そのうちに真っ暗になってしまってもまだ着かなかった。ライトがあるとはいえ、夜の山歩きや川渡りはかなり危険で、しかも頼りの目印がかなり見つけにくくなっていた。我々は焦っていた。その時、人の声が出た。

### ピバーク決行

向こうの方でチラチラと明かりが見える。数分歩くとやっと20坪ほどの空き地に着いた。第一山小屋跡地である。でかいテントが2つ張ってあり、6人くらいのいかにもベテランハイカーといった風体の人々が夕食を食べていた。「お疲れさま」と声をかけられて、正直かなりホッとした。ここは一丁、景気付けに焚き火でもしたいところだが、国定公園内の焚き火は禁止である。我々は非常食料のカロリーメイトのみの簡単な夕食を済ませた。隣のハイカーの内の一人が「これどうぞ」と分けてくれたシーチキンがすごくうまかった。とりとめもない話や、明日の予定などを話し合っているうちに少し肌寒くなってきた。「そろそろ寝るか」我々は粗末なシートの上に寝袋もなしで寝ころんだ。私は普段から寝付きの悪い方で、寝付いてしまうまで時間がかかるのだが、隣のHもかなり寝にくそうで

ある。しばらく経つと友人は「寒い」と言って歯をガタガタいわせながらゴミ袋をかぶりだした。そのうち私の方も寒気ができて我慢できなくなってきた。山の中は夜、かなり冷え込むようである。我々は長袖のシャツにゴミ袋をまとしてほとんど一睡もできずに朝を迎えるハメになってしまった。ようやく朝が来て、我々は出発の準備をした。さすがに昨日の重労働と空腹、睡眠不足でフラフラであったが、太陽の温かさが何より有り難かった。二人とも紫色の唇に血の気が戻ってくる頃にはどこからかまた気が湧いてきた。そこからの歩行はかなり楽になっていた。川をかなり上流までさかのぼり、川幅は3メートルほどになっている。登り下りが減ったうえに川を渡るのも楽になった。昼をだいぶ過ぎた頃、急に目の前が明るくなった。今まで空をおおっていた木々がなくなったのである。「やったー!!」思わず声が出る。我々は森の終点、林道に出たのである。ここからはもう楽な道である。車の通った跡もある。目印も探さなくてもいいし、川を渡ることもない。それから2時間半後の3時15分、我々はずいに終着点である大富バス停にたどり着くことが出来たのである。

### 無事に帰れたのだが...

キャンプ場に戻った我々は疲れ切ってはいたが、夜遅くまで話をした。よくぞがんばったと相手と自分をたたえ、夜は凍死するかと思ったとか、道がわからなくなったこと、ひもじかったこと、私が木の根をヤマメコと間違えたこと、友人が崖から落ちたこと等等、とめどなく話が出てきた。しかし翌日、1998年の大晦日、私は日の出を撮ろうと早朝から出かけた。そして9時頃キャン

プ場に帰ってくると、友人の様子がおかしい。西表島横断で彼は全ての力を使いきってしまったのであろう、すっかりウツ状態になってしまって、ほとんど話をする事がなくなってしまった。私はこの旅行以来彼とは会っていない。

### 縄文杉をナマで見たい

屋久島は前から行きたいと思っていたところである。ある日、世界遺産という番組でたまたま屋久島の紹介をしていた。いいなあ、行きたいなあ。有名な縄文杉が映し出されて私は思った。いや、行こう。もう決まった。絶対、行く。かくして衝動的に決めてしまって、後日飛行機や船、宿やレンタカーの手配を済ませた。

鹿児島からの船は人だらけでさながら奴隷船のようであったが、屋久島に着いてしまうと人も車も少なく、また5月にもかかわらず真夏のような陽光で、私は簡単に浮かれてしまった。次の日からいよいよ縄文杉までの登山である。今回は前回の西表島での失敗を生かし、綿密な計画を練り、装備を調べていた。テント、寝袋、マット、携帯食料、コンロ、雨具など。しかし、性懲りもなくまたもや重いカメラ機材と三脚を持っていくことにした。今回の登山は西表島に比べ、歩行時間に余裕を持って、ガイドブックには日帰りと書いてあるのをわざわざ1泊する事にしていた。時間に気をとられるのは嫌だったし、縄文杉をはじめとする巨大な屋久杉をじっくり見たかったのである。出発の日、私と友人は早朝から車で登山口まで意気揚々と行った



縄文杉

のだが、そこで我々の見たものは、巨大な観光バスと、多くのタクシー、レンタカーだった。駐車場は満杯、路上駐車し放題で、だいぶ早く出たと思っていた我々はかなり甘かったことを思い知らされた。結局登山口から歩いて1時間くらいかかるところに車を止めて、出発。しかし、なんと人の多いことか。街中に人がいないと思ったら山にたくさんいた。縄文杉までの道のりの半分はトロツクの軌道敷きの道で、かなり楽チンである。我々は山を見ながら平坦な道をどんどん進んでいった。昼前、線路のなくなるところで早い食事を済ませ、いよいよ山に入っていった。しかし、ところどころ人の手加えられてあり、階段まであってかなり登りやすかった。奥に進むにつれて木が大きくなる。三代杉とか翁杉とか名前のついてるものはもちろん巨大だが、そこら辺に普通に生えている木でも思わず「おお」と声を上げてしまうくらい大きかった。そのうちウィルソン株に着いた。それはでかい切り株で、周りには大勢の人が休憩している。我々もリュックをおろし、切り株の中に入ってみた。中では水が湧いて

いて「延命水」と立て札があった。命が延びたのかどうかは分からないが休憩しているうちに疲れもとれ、さあ、もうひとがんばりと再びリュックを背負って歩き始めた。このペースなら楽勝だなとかかなり余裕もあった。



しかしちっとも楽勝ではなかった

道はここに来てかなり険しくなってきた。親切な階段などもなくなり、あの西表島の道を彷彿とさせた。それからもう必死だった。周りの巨木を見る余裕もなくなり、クソ重い写真機材に耐えながら前へ進んだ。(やっぱりもっと機材を減らすべきだった。実際ほとんど使わなかったレンズもあった。) 縄文杉にたどり着いたのはウィルソン株から3時間ほど経ってからであった。縄文杉は展望台の上からしか見ることができない。大勢の観光客によって根が踏まれて木が弱ってしまふのを防ぐためだ。展望台を一気に登って私は、あれほど見たがっていた縄文杉を一別しただけで仰向けになって寝ころがり、数分間休んだ。普通に呼吸できるようになってから私は気を取り直し、メガネの曇りをとって改めて縄文杉を眺めた。「でかい」。今

屋久島は雨の島である。山間部は10,000ミリ以上の雨が降るともいわれ、ヤクスギはその恩恵を受けて巨木となり、その姿は見る者の心に訴えかけるものがある。ちなみにこの島は中心部に九州最高峰の宮之浦岳(1935m)をはじめ、1500mを越す高峰がそびえ、冬には雪が積もるため洋上アルプスとも呼ばれている。



日没後の縄文杉

~ 巨大なヤクスギ ~

三代杉



翁杉

まで見てきた大きな木がまるでこの縄文杉の引き立て役のようにさえ思えてくる。これまでテレビや写真、ポスターなどで何度も見てきたものであったが、明らかに別のものがあった。何か、木の精のようなものが棲んでいる雰囲気がある。ずうっと見ても飽きそうもなかった。私は「この感じを写すのは無理だろうな」と考えながらも何枚も写真を

撮った。

そこから10分ほど歩いたところに旧高塚小屋がある。登山者のための無人小屋である。案の定小屋は人であふれており、それどころか周りに無数のテントが張られていた。我々は適当なところでテントを張り、食事をとった。その後私は居ても立ってもいられなくなってもう一度カメラを担いで縄文杉を見に行った。もう辺りは薄暗い。しかし、薄暗い中で巨杉の白っぽい幹がボウッと浮かび上がってまた違った味わいがあった。

翌日は大雨だった。私は早朝に起きて合羽を着てまた縄文杉を見に行った。そしてテントを片付けて下山準備をして帰り際、最後にもう一度見て下山した。激しい雨の中で見る縄文杉もやはり、素晴らしかった。

### 格安国際電話

Korea-mlメンバー 野中 弘充

はじめまして。6月に36歳になった、nonです。妻は韓国人、子供は3人(5, 3, 1歳)です。1年間の遠距離恋愛の末、結婚して約7年、大阪市東淀川区に住んでいます。今日は、皆さんのお役に立てればと思い、私のホームページを紹介させていただきます。

韓国に電話するのに、まだ、高い料金を支払っている方はいませんか?ここで紹介する「SKYNETカード」を使えば、1分24円です。(定価の2割引で販売しているので)コールバック方式ではなく、かけるときの番号が少し増えるだけです。他にも、FAXを送れたり、韓国からもかけられたり、携帯からもかけられる、機能の充実した「ハナロカード」を、定価の2割引で販売しています。

遠距離恋愛中に電話料金に悩まされた、私(non)が、今も探し続けている、安い電話の紹介ページです。もちろん、韓国以外にもかけられます。

また、韓国語のことわざの紹介もしています。韓国語の発音には、限界を感じた私(non)は、努力する方向を変えました。「どうせ日本人とわかる発音でしかしゃべれないのなら、しゃべる内容で勝負だ。うまいタイミングでことわざを言えるようになれば、かっこいいだろう。」これがことわざの勉強の動機です。一緒に勉強しませんか?

関心のある方は、1度覗いてみて下さい。URLは、

<http://www.pure.co.jp/non/index.html>

## マイクロソフトの社長の名前は「なるげ」?!

あなたの今使っているパソコンまたはワープロで、「なるげ」と入力して、漢字変換してみてください。

「成毛」と出ますね。

そう、マイクロソフト株式会社の社長名は、「成毛 真」なんです。

KBSの社内報「ナルゲ」とどんな関係?

## Multi-Bitsから取材に来社

DTP通販のMulti-Bitsから、通販カタログの中に事例記事を載せるための取材にわざわざ東京からKBSに来社した。

株式会社テックデザインの斉藤和弘社長、株式会社ミスミの大野龍隆さん、櫛恵子さんの3人。

KBSが30年以上の韓国語、多言語開発などの歴史を聞いて、感心をする3人。斉藤さんはKBSの様子をビデオに収めるやら、写真に撮るやらでいそがしい。

実際に作業をしている、多言語のページがブラウン管に写されているのを見る、3人は感動のような声さえ発しているようだ。



どんな記事になるのか楽しみだ。発行予定は11月15日。

しかし、一方ではKBSのノウハウを他社がまねて、競争相手が増えるのではという心配もあるが、この業界に多言語の仕事が活発になれば全体的に市場性が大きくなるであろう。KBSは永年培ったノウハウで、お客様が求めるのを、よりよいものを提供してゆけばいい。

3人は特に、KBS社内報、ナルゲの多言語混植組版、Windows組版に関心が高いように思えた。

この時のようすをwebページにも発信しているので、覗いてごらん。アドレスは <http://www.kbsjapan.com/multibits/>

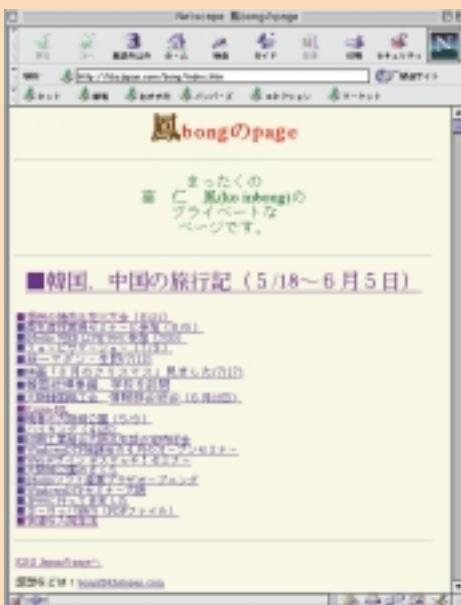
## 鳳@bongのページ

これは私の個人的なプライベートのwebページです。

私は出かける時DVカメラを引っさげて行き、気軽に撮り、webにアップしています。

まあ、日記のような、落書きのような、雑記帳みたいなものです。でも、けっこうみんなに人気があるようで、訪れてきます。

<http://www.kbsjapan.com/bong>



## 夏の中国家庭料理



### Mac部 カク

「小葱拌豆腐、一清二白\*」という熟語は中国ではほとんどの人々に知られています。盛夏の際、ここで皆様に「小葱拌豆腐」という前菜の作り方を紹介します。

材料:

- ・絹ごし豆腐一丁
- ・青ねぎ2~3本
- ・薄口醤油適量
- ・ゴマ油適量
- ・塩と味の素適量

作り方:

- ・豆腐を洗い、しっかり水を切り、一口サイズのサイコロ状に切り、お皿に盛る。
- ・ねぎのみじんぎりを豆腐にのせる。
- ・塩、醤油、ごま油、味の素をかける。
- ・食べる際に、箸で軽く豆腐をかき混ぜる(食べる直前に作った方がよい)

この料理は、味はあっさりしていて栄養もあり、作り方がとても簡単で、経済的です。もし興味があれば、作ってみてください。

\*ネギの青と豆腐の白のように、けじめがはっきりしていること。

在中国、「小葱拌豆腐、一清二白\*」の熟語几乎人人皆知。盛夏之际,在此向大家介绍一品“小葱拌豆腐”的凉菜作法。

■材料:

- ・嫩豆腐一块
- ・小葱2~3根
- ・鲜酱油少许(淡味)
- ・麻油少许
- ・细盐和味精少许

■作法:

- ・豆腐冲洗后将水沥干,切成方丁块后放盘。
- ・将小葱切成葱末后撒在豆腐上。
- ・撒盐和味精,淋上酱油,麻油即可。
- ・吃的时候用筷子轻轻的搅拌一下。(由于豆腐易出水,最好现拌现吃。)

该凉菜清淡爽口,富有营养,作法非常简单且经济实惠。若有兴趣,请不妨试试看。

\*“小葱拌豆腐,一清二白”是指是非分明的意思。

# 通訳ボランティアに参加

総務部 鄭址弘

第5回「日韓障害者国際交流大会」が7月24日(土)にマイティ舞洲で開かれました。韓国からは50人の障害者とその家族、大会関係者が本大会参加の為、来日しました。

大会はいくつかのグループに分かれ、課題別の研修会及び関連施設の視察、討論など両国障害者の交流を深めるものでした。

私はコリアボランティア協会の呼びかけで通訳兼案内役として参加しました。私自身、障害者を持つ家族として、少しでも障害者に役に立つ事ができればと思って参加しました。

短い時間でしたが、感動しました。いろんな障害者を持っているにもかかわらず、たくましく生きていく姿には頭が下がらばかりでした。特に感心したのは、障害者の方々は健常者との交流をいかに望んでいるかということでした。

私自身、他の障害者の方たちとの接触も殆どなく、もしあったとしても同情の気持ち先立って、別の世界の人間としてしか接しなかったのではないかということを考えれば、それが障害者には健常者との交流の厚い壁になったに違いないと思いました。

世の中には、体は健常でも心が傷ついている人が大勢いると思います。障害者の方々は、体は不自由ですが心は本当に天使の心の持ち主ばかりでした。

今後、障害者を別の目でみるのではなく、共に生きて行くそういう社会になればいいなと思いました。

## 통역 보란티아에 참가 총무부 정지홍

제5회 일한장애자국제교류대회가 7월24일(토)마이티 마이사마에서 열렸습니다. 한국에서는 50명의 장애인들과 가족등 대외관계자가 본대회참가를 위해 일본에 오셨습니다.

대회는 몇개의 그룹으로 나누어 과제별연수회 및 관련시설의 시찰 토론등 양국의 장애인들과의 교류를 깊어지게 하는 것이었습니다.



저는 코리아 불란티아 협회의 권유로 통역 겸 안내역으로 대회에 참가하였습니다.저 자신 장애자의 가족으로서 조금이나마 장애자의 힘이 되었으면 하는 마음에서 참가 하였습니다.

짧은 시간이었습니다만,감동적이 었습니다.여러가지 장애를 가지고 있음에도 불구하고 곳곳히 살아가시는 모습을 봤을때 머리가 숙여질 뿐이었습니다.

앞으로 장애인들을 색다르게 보지말고 더불어 사는 그러한 세상이 되었으면 좋겠습니다.

# 新入社員です、よろしくお願ひします。

営業企画部

はじめまして!

8月5日から皆様の仲間に入れて頂くことになりました。とはいうものの、私とケービーエスとは、大阪外国語大学朝鮮語学科編『朝鮮語大辞典』の校正のために、1981年に初めて訪問して以来、20年近い縁になります。

韓国語はおろか、日本語のワープロもないその頃、ハングルによる印刷物を目にするのはほとんどといっていい程なく、出版社の角川書店は朝鮮語大辞典印刷のための活字を韓国に何トンも抱えていて、校正の度に韓国にグラを刷りに出すという状態でした。そんな中、ケービーエス(当時は僑文社)は辞典作りを機に、世界初のハングルの電算写植化、本格的なハングル印刷に乗り出したのでした。私はというと、韓国では組まない別冊を組んでもらうために、家が近いという理由だけでグラを持って来るようになったのでした。

その後、ハングル印刷が高社長の独創的な発想と研究開発により、Macの登場・進化と軌を一にして大きく変化し、さらに多言語へと発展していったことは、私が申し上げるまでもないことでしょう。ケービーエスを訪ねる度に、素人ながらその進歩の早さと可能性の広がりには驚き、大変興味を持って社長の話を聞きました。辞典完成後、いつか自分もこんな仕事をしてみたいという気持ちを、心のどこかで持つようになりました。

それからはことある毎に社長に頼み込み、この度ようやくケービーエスの一員にしてもらうことが出来ました。この不況の中で迎え入れて頂いて、自分に何が出来るのか、かけられた期待にうまく応えていくことが出来るのか、いつも不安でいっぱいですが、人生の折り返し点に立って来て、今までの経験を活かして新しいことに挑戦してみようと思っ

특히 놀란것은 정상인과의 교류를 바라고 있다는 사실이었습니다.

저자신 장애인들과의 접촉도 그렇게 많지 않았고, 있다고 해도 동정하는 마음이 앞설 뿐 동등한 입장으로 접하지 않았지 않았는가 를 생각하면, 이것이 장애인들에게는 정상인과의 두꺼운 벽이 아니었을까 생각해 봅니다.

세상에는 몸은 정상이지만 마음이 병들어 있는 사람들이 많이 있다고 생각합니다만, 장애인들은 비록 몸은 불편하지만 마음은 정말 천사 같은 마음들을 가지고 계셨습니다.

앞으로 장애인들을 색다르게 보지말고 더불어 사는 그러한 세상이 되었으면 좋겠습니다.

# 新入社員です、よろしくお願ひします。

営業企画部

はじめまして!

8月5日から皆様の仲間に入れて頂くことになりました。とはいうものの、私とケービーエスとは、大阪外国語大学朝鮮語学科編『朝鮮語大辞典』の校正のために、1981年に初めて訪問して以来、20年近い縁になります。

韓国語はおろか、日本語のワープロもないその頃、ハングルによる印刷物を目にするのはほとんどといっていい程なく、出版社の角川書店は朝鮮語大辞典印刷のための活字を韓国に何トンも抱えていて、校正の度に韓国にグラを刷りに出すという状態でした。そんな中、ケービーエス(当時は僑文社)は辞典作りを機に、世界初のハングルの電算写植化、本格的なハングル印刷に乗り出したのでした。私はというと、韓国では組まない別冊を組んでもらうために、家が近いという理由だけでグラを持って来るようになったのでした。

その後、ハングル印刷が高社長の独創的な発想と研究開発により、Macの登場・進化と軌を一にして大きく変化し、さらに多言語へと発展していったことは、私が申し上げるまでもないことでしょう。ケービーエスを訪ねる度に、素人ながらその進歩の早さと可能性の広がりには驚き、大変興味を持って社長の話を聞きました。辞典完成後、いつか自分もこんな仕事をしてみたいという気持ちを、心のどこかで持つようになりました。それからはことある毎に社長に頼み込み、この度ようやくケービーエスの一員にしてもらうことが出来ました。この不況の中で迎え入れて頂いて、自分に何が出来るのか、かけられた期待にうまく応えていくことが出来るのか、いつも不安でいっぱいですが、人生の折り返し点に立って来て、今までの経験を活かして新しいことに挑戦してみようと思っ

# インターネットはわたしの百科辞典だ

翻訳部 李凡



翻訳の仕事をやっている以上、いろんな分野から仕事が回ってくるが、全部カバーできるわけではない。もちろんそれを専門に担当する翻訳者にやってもらうのがベストだが、場合によって自力でクリアしないとイケない。そこで一番欠かせないのが辞書だ。だが、特に専門分野の辞書を揃えるのは一苦労だ。中国語のものならば、東京にある内山書店や東方書店などの中国書籍取扱書店に問い合わせをすればよいが、なかなかほしいものは手に入らないのが現状だ。そこで、役に立つものは一つにインターネットがある。インターネット上の情報をフル活用して有用なものを選別し、百科全書の代わりにつかうのだ。

例をあげると、最近多くの集客施設が、不況を乗り越えるために海外の客を対象にPR用のパンフレットを出している。そこで翻訳の仕事が発生し、中国語バージョンのものを作ることになる。ところが、日本語原稿のテキストだけを見ても、一体どういうものかを言っているのかまったくわからない場合がある。いくら辞書を引いても単語の意味がわかったとしても、そのもののイメージが浮かんでこないし、もちろん中国語に直しようもない。たとえば、

## 因特网是我的百科全书

干翻译这行, 会接到各个领域的工作. 当然, 有关专业性强的东西最好找专业人士翻译. 但是事实上, 有些必须得自己干. 这时候词典就成了必不可少的东西. 特别是专业辞书不好找. 汉语的词典等倒是可以向东京的内山书店或东方书店等专门进口中国书籍的书店查询. 可是一般最想要的词典也很难入手. 因特网在这个时候就会显出它的威力. 我经常在上面查找一些有用的资料, 把它当做百科全书来用.

比如说, 最近为了克服经济萧条, 一些有关观光的设施以海外游客为对象制作了宣传品, 这就需要把它翻译成汉语, 制作中文版的小册子. 然而看到日语原稿的时候, 有些东西根本不懂, 就算是知道单词的意思, 也搞不清究竟是个什么东西. 没有实际的感觉, 因此也就没法翻译成汉语. 有次九州的太空世界公园新设了一个叫做“ツインマーキュリー”的游戏设施, “ツイン”是两个的意思, “マーキュリー”是水星的意思, 可这到底



が جذابだ。その理由で担当者が 되어 원고를 가져오게 된 것이었습니다.

그 후 한글인쇄가 고사장님의 독창적인 발상과 연구개발에 의해서 Mac등장과 진보에 걸음을 맞추는 것처럼 크게 바뀌어 지고 더욱 다언어인쇄로 발전해 온 것은 제가 여기서 다시 말할 필요도 없는 일일것지요. 케이비에스를 찾아올 때마다 전문적인 것은 몰라도 그 진보의 속도와 무한한 가능성에 놀랐고 아주 재미있게 사장님의 이야기를 들었습니다. 조선어대사전이 완성된 후 앞으로 나도 이런 일을 해보고 싶다는 생각을 가지게 되었습니다.

그래서 만날 때마다 사장님에게 부탁해서 드디어 이 번에 이렇게 케이비에스 일원이 되었습니다. 이 불경기 속에서 저를 받아들여 주신 데에 대해서 나는 무엇을 할 수 있는가, 기대에 잘 응해 나갈 수 있는가 하고 항상 불안을 안고 있습니다만, 인생의 반환점에 선 지금, 오늘까지 쌓아온 경험을 살려서 새로운 것에 도전하려고 마음먹었습니다. 저는 슬로우 스타터이기 때문에 하는 일이 케도에 오르는데 시간이 걸릴지도 모르겠습니다만 여러분 부디 잘 봐 주시기 바랍니다. 감사합니다.

## 多国語によるインターネットホームページの制作 レンタルサーバーホスティングサービス、ドメイン取得

### ケービーエス株式会社

http://www.kbsjapan.com

〒544-0033 大阪市生野区勝山北2-16-17

電話 06-6716-5665

FAX 06-6711-2104

E-mail: info@kbsjapan.com







KBS  
見たまま

## DTPいくち 生地正幸

会社見学のお礼に、原稿を書きました。

お客さんから『中近東向けの仕事でアラビア語をやっている所をご存知ないやらか』と依頼があって、私でさえ真っ先に『KBS』の3文字がひらめいた。これだけでも凄いことで、『オンリーワン』の仕事をやっておられるKBSさんの強みで、すぐに『できませ』と二つ返事で相手に伝えたが、「いままでハナから『でけへん』とばかり思って断っていましたんや。こんなやりとりで、今後、いつか本当に仕事となって来ることを期待し、7月12日、KBS株式会社を訪問した。

高社長とは同年齢だが、やっておられる仕事の中身を比較する方が失礼に当る。多言語データのできるまでの仕組みの説明を聞きながら、頭の中で私の方が高社長より少し勝っているものを必死に探してみた。

2つだけ見つかった。ひとつはちょっとだけ生れが早いことと、自転車。

最近、運動・健康を兼ねて市内なら何処へ行くのも自転車で、その便利さと、周りを見ることができ、気に入ったらすぐに止められ、おまけに体重が減ったと、『ナルゲ』に書いておられたが、自転車というものはまさに一挙数倍の得がある。

数年前の秋、DTP組合のハイキングの時、私が担いできたマウンテンバイク(以後MTB)を少しだけ乗って、相当お気に召したのか、『これは、すぐを買うな』と直感したが、こちらの方はどうやらまだで、『今度ソウルへ行くとき、あちらでMTBで市内を回ってみようと思っている』と言われるので、そんなら『向こうで、できればアルミフレームの軽いMTBを買って乗り回し、帰りに大阪へ送っ



さる7月12日、生地さんが私どものKBSを訪ねてきた。その時に、別れてすぐ書いて送ってくれたのがこの文章である。

会社に来られた生地さんは熱心に、興味をもって、パソコンの画面を覗き込んでいた。

右の文と写真は、7月31日にKBSに来られ受付カウンターにいていたもの。この日は土曜日で会社の業務は午後4時で終わって、私はまだ会社にいたのだが、会うことが出来なかった。あの時見えなかったのが、非常に残念だ。(高仁鳳)

たらどうですか』とアドバイスを送った。

いずれにしても、Macといい、Winといい、インターネットのホームページといい、すべてが好奇心のカタマリのような高社長のこと、それらをすべて会社に取り入れ、仕事に生かし、ここまでやってこられたのだから、MTBでは5年先輩ぶってはいるが、そのうちに私が密かに計画していて、いまだ実行していない『富士山の五合目から押したり担いでもいいから、とにかく3776mの頂上まで上がり、頂上からは多分乗ってよう下れないからこれも押し下り、五合目からはMTBで車道を一気に田子ノ浦(0m)まで下り着く』というものが、うっかり教えると先にやられてしまうかも知れない。但し、お腹がもう少しへっこんでからの話だが。

関西国際空港が開港して9月で早や5年になるが、それ以来大阪市内のあちらこちらや百貨店などで案内表示板で多言語をよく見かける。多分あれはここでやったのではないかと尋ねてみると、やはりそうで、その頃は相当忙しかった(相当儲かった)のだらうと思った。

最後に多言語の仕事場を拝見させてもらったが、どんなソフトが組み込まれているのか、私が打っている同じキーボードをバラバラと操って、こちらでは中国語が、となりではハングル文字がいと簡単に出てくる。

お目あてのアラビア語もあった。

KBSの社員さんから見ると『何を感じたはんの』ということになるが、やはり、聞くと見るとでは大違い。今日2時間お邪魔して、今後自社で生かせるところを探り、勉強していきたいと思った。

KBSの高社長、社員の皆様、どうもありがとうございました。

KBS 拝見お礼高社長様  
7/31 PMS:20 生地正幸

## 大杉谷・七ツ釜滝(三重県)

大台ヶ原山を水源にもつ大杉谷は、全国に出しても遜色のない大峽谷だ。

大台ヶ原山が日本有数の多雨地帯のため、深く浸食された谷は多くの滝や淵、釜を作り、とりわけ兩岸切り立ったV字谷を三段に落ちる七ツ釜は圧巻であった。豪壮な水音を轟かせて下のエメラルド色の釜まで流れ下るさまは訪れる者を圧倒する。

快晴で梅雨明けを思わせるような青空、水量は丁度で、時を忘れて見とれるような、大杉谷いちばんの美瀑であった。

7月11日、私は前夜に大台ヶ原駐車場で泊り、日出ヶ岳から独りで大杉谷の探勝に下った。桃ノ木小屋まで往復したわけだが、幸いにも谷の中で誰ひとりとして会わず、大杉谷でいちばん美味しいところを一人占めにする贅沢を味わった。

出発から登り返してくるまで往復11時間、年齢を考えれば誠にけっこうな残業付きの労働であった。



日本へ来て間もなく、姉は町の軍需工場へ挺身隊のひとりに狩り出されることになりました。隣組のおじさんが来て、姉に軍需工場へ行くように命令したのです。父が、この子は体も弱いし小さいので無理、と頼んでみてもだめでした。とうとう姉は軍需工場へ行き始めました。しばらくすると、姉の大きな目ももっと大きくなりました。やせて目がくぼんだからです。(仕事はつらかったらしいのですが、姉はこの工場で終生の友を得ました。)

父が留守のとき、私は母に「マダンの家に帰ろうよ」と、何でも言いました。母は母で、時おり、風によって聞こえてくる汽笛に炊事場で声をしのばせて泣いていました。故郷を離れるとき聞いた汽笛と日本の汽笛は同じ響きだったので、祖母を思い出したのだと思います。今は見られない蒸気機関車の尾をひくような汽笛の音は子どもごころにも悲しく響きました。

日本語をまだ覚えないうちに私は日本の小学校へ入学しました。

朝礼がすみ教室に入ると、先生が出席をとります。私は呼ばれても返事をしません。自分が呼ばれたことを聞きとれないのです。隣の席の子が、私の名札(さくらの花型に、1ねん、あかぐみ、名前が書いてある)をのぞいて、私の日本名を覚えて、先生が私の名前を呼ぶと「ハイ」と返事をしてくれました。(だまっている私にかわって)そんなことがしばらく続きました。私は自分の名前がなぜ違う名前になったのだらうと思いました。そのうち私も自分の日本名を覚えました。それで、その名前が呼ばれたとき「イエ(はい)」と思い切って返事をしました。一瞬、教室の中はしんとしました。そしてクラス中爆笑。私は「はい」と言うつもりが…。私の日本名に隣の子と私は同時に返事をしたのでした。彼女の「はい」と私の「イエ」を同時に。

隣の席の子は入院していたので入学が2年遅れた子でした。そのことを私が少し言葉を覚えたとき教えてくれました。その子は体は小さかったけど年齢は私と同じでした。私は日本へ来た時期がずれていたのと日本語を知らないで2年遅れの1年生に入学したのです。同じ年齢のせいか私はその子と誰よりも先に仲良しになりました。その子は文字をよく知っていたので、私はその子をとて尊敬しました。その子はお母さんに背負われて通学していました。授業中は、先生が「ナンダラカンダラ～」とおっしゃると、さっと私のランドセルからその授業の時間割の教科書とノートを私の机の上に並べてくれました。図画の時間には自分のクレヨンを使わせてくれました。図工のときは、のりや、はさみや、色紙をつかわせ

てくれました。(教科書とノートだけを持って学校へ通っていました。私の親は買い方を知らなかったのだと思います。)

図工の時間割りは何をするのかわかりません。(どの科目もわかりませんが、特に図工とか習字とかは見当もつきませんでした。)そこで私はすぐに隣の子を見ることにします。言葉がわからない私は目で見ることしかありません。

ある日の図工の時間のとき、先生の「ナンダラカンダラ～」が終わると、隣の子は色紙をちぎって画用紙に貼り始めました。私も早

課題作と違うものなのに貼り出してくださった先生。柔軟性のある優しい心遣いの先生でした。私はうれしくなりました。図工が好きになっていきました。並木の貼り絵が壁にある間中、恥ずかしかったけど先生のおっしゃることはわからないけど、先生が私に気配りしてくださっていることが絵を見る度伝わってきました。

休み時間になると、運動場へ出ます。隣の席の子と私は必ず一緒に教室を出ました。(私がお子をかかえるようにして)その子は体育の時間は見ているだけです。少し歩くと肩で息をしていました。

運動場では、私のクラスの子らが私と彼女を囲みます。私の「イエ」と返事したことでは私は私に興味をもったのでしょう。彼らが、

「これな～んだ?」と、運動場の小石を拾ってたずねます。私は「...?」

隣の席の子がすかさず「小石」と耳うちしてくれ

す。私は、「コイシ」と、小さな声で答えます。クラスの子らは、また

「これな～んだ?」と靴を指します。

「クス(靴)」と私。爆笑。耳うちはクツだったのに…。

「これな～んだ?」と、唾を吐いて見せる。彼女の耳うち。

「チュパ(つば)」と私。またまた爆笑。彼らはだんだん興奮して、私たちを取り囲んでいる輪が小さくなってきます。彼らが彼女に触れて彼女がこぼさないように私はかばいます。あつという間に休み時間が過ぎました。こうして休み時間の運動場では楽しく笑いのうちに、生きた日本語(はなし言葉)を覚えたのです。(名古屋弁ではあったけど)

隣の席の子のお母さんは、授業が終わる頃になると迎えに来ていました。迎えに来たとき、私の顔を見て、にこにこしながらノートと鉛筆と消しゴムをだまって私のランドセルに入れてくださいました。

間もなく隣の席の子は学校へ来なくなりました。(私がおその学校を去る日まで)

だんだん、文字も言葉も覚え充実した学校生活になっていきました。

校門を入ると二宮金次郎の(薪を背負って本を読んでいる)銅像がありました。修身の(道徳の時間、私はこの時間割りが苦痛でした。言葉が聞き取れないからです)時間割りのとき、二宮金次郎の勤勉さと物を大切にすることについて勉強しました。(戦時中にこの銅像は戦争の道具を作るために供出されて消えました)

(つづく)

## マダンの兎(7話)

翻訳部 朴禮和  
(パク・エイファ)



速、色紙を(隣の子にもらって)ちぎって画用紙に貼りました。(国を離れる時、汽車の窓から見た飛んでいくような木々を思い出しながら…)その木々の並木の絵は教室の後ろの壁に貼り出されました。ところが、私の貼り絵だけが並木で、ほかの全員は、2本の花を活けた花瓶でした。教科書を見てその通りの、貼り絵をしなさいと、おっしゃったのに、意味を聞きとれない私は隣の子が貼るのをみて、とにかく、貼るのだと思い込み、木々を…。



アリランのママと店の前で

### アリラン食堂

店の見かけは、まさに韓国の食堂そのもの。入り口のガラス張りの扉に文字を書いたり、店先にいろいろな食品類を並べているあたり、昨年の社員旅行で済州の町を歩いた時を思い出させる。

さらに驚いたことに、中に入ってみると店に置いてあるテレビでは、韓国のテレビ局の番組が放送されていた。

店に行く途中で、社長が「korea-mlの大阪のオフ会はよくここで行く。」と言っていたのもうなづける。

平日の月曜だというのに、僕らが入る前、入ったすぐ後からもぞろぞろとお客さんが来て、たちまち店の中は賑やかになった。

ママの鄭斗葉(チョントヨブ)さんも注文に追われて、大変忙しい最中だったが、少し、質問の時間を割いてもらった。

店を始めてどれぐらいになるんですか？  
「10月22日で、満7年になります。それで、10月21日の日を開店7周年記念として、当日来られたお客には、アリラン特製記念品を進呈しますよ。」

アリランのお勧めの一品は？  
「うちはほとんどが、家庭的な料理です。どれ



こうして食べるのよ

場 所：大阪市生野区鶴橋2-14-6  
近鉄鶴橋駅東口より徒歩5分  
JR 鶴橋駅から10分  
定休日：年中無休  
営業時間：AM11:00 ~ AM3:00(お客さんが帰るまで...)  
電話番号：06-6712-5666  
ホームページ：http://kobo.internet.ne.jp/ariranhp.htm

## よく利用する、韓国料理の店

korea-ml / 山口真也さんが開設している、韓国・朝鮮メーリングリスト。  
まあ、韓国が好きとか、韓国に関連ある人たちがインターネットのE-mailをとおして、ネット上で話し合う場だ。  
詳しくは、次のWebサイトで見ることができる

う。  
<http://www2d.biglobe.ne.jp/kmlabs/>  
このネット上で話し合う仲間が、ネット以外で、オフで会うと言うのがオフ会だ。  
この度、大阪と東京のオフ会でよく利用する、食堂を改めて紹介しよう。

### ハンマダン

入り口にはキムチ、韓国のインスタントラーメンなどの韓国食品、韓国の物産販売のための、薬品や化粧品などもおいてある。

入ってみて、メニューの多さに驚く。奥行きが広い。



特製チヂミ

場 所：大阪市生野区新今里3-3-12  
定休日：第2、4月曜日  
営業時間：16:00 ~ 翌4:00  
ホームページアドレス  
<http://www.kbsjapan.com/korea-ml/imasato/hanmadan.htm>  
マ マ：元貞子

もお勧めですが、あえて言えば、テジカルビ(豚カルビ)かな。」

では、早速「テジカルビ」を注文。鄭さんに食べ方を教わって、チシャの葉に包んだものを一口に頬ばる。美味しい！何か知らずに食べていたら牛肉と思うほどだ。値段も、もちろん牛肉より安いので、コストパフォーマンスも高い。

鶴橋の駅からも近いので、気楽に来やすく、鄭さんは「日をおって、アリランのファンが増えています。」と目を細める。

経験豊かな妙味、1度味わってみてはいかが？



まず、サムギョッサル(豚肉の三段腹)を注文。野菜に包んで食べるとそれはなんとも言えない味。一度食べるともう虜になる。

ママのオススメはワタリガニのチム(コックジャンチム) 焼きダコ、どんぐり冷麺だ。

韓国の酒もいろいろあって大阪において韓国の味をあげあえるのだ。



取材より、食べるのに忙しい



サムギョップサル

### 番外編

#### きよし

大阪大池橋の近くに、韓国食堂きよしがある。生野の在日にはお馴染みの店だ。

味は済州島の素朴な家庭的なもの。メニューを見ると、몸국海草スープ、감자탕じゃがいも鍋、갈치국太刀魚スープ、만두自家製餃子、済州島から直送의음あまだい、など。



「きょん あ」ページでの紹介記事

韓国・朝鮮メーリングリストとは  
 1996年7月1日に開設された「韓国・朝鮮メーリングリスト(korea-ml)」は、インターネットの電子メールおよびメーリングリスト(ML=購読希望者へのメール自動配送)の機能を利用して運営される、韓国・朝鮮に興味・関心をお持ちの方のための多方向情報交換システムです。  
 MLでは、ほかの購読者から送られてくるメッセー

ジを読むだけでなく、あなたの送ったメールもすべての参加者に配信されます。電子メールのシステムを利用していますが、ニュースグループやパソコン通信の掲示板に近いイメージで捉えるのがよいでしょう。ただし、メッセージの購読やポストを行うには、まず購読のお申し込みが必要です。  
 korea-mlでは参加資格やMLの用途、メッセージの内容について、原則として制限を設けませんが、主催者は韓国・朝鮮に関連する話題全般の

交換、および韓国・朝鮮に興味や関心を持つ皆様同士の親睦を、主な目的として想定しています。  
 韓国・朝鮮に関する話題なら硬軟なんでもありですが、主催者としては「軟」のほうの話題に重点を置いているつもりです。  
 なお、このメーリングリストの購読者数は480名(1999年8月8日現在)、トラフィックは1日あたり10~20通程度です。

キング

韓国通の korea-ml の東京オフ会によく使われるところが、このキングという店だ。7月3日に私、高仁鳳も参加させてもらった。(詳しくは <http://www.kbsjapan.com/tokyo/> にのっている)

場所は東京新宿の歌舞伎町。この界限はリトルソウルだ。いや、ビッグソウルと言ってもいい街。

「食在全南」といわれる韓国は全羅南道木浦出身のマスターと奥さんが4年前に始めた韓国居酒屋。店内はとてもゴージャスな内装で、しかも、日本語/韓国語のカラオケ完備なので、一次会で食事、二次会からカラオケと一つの店で全てがまかなえる。ちなみに、韓国カラオケは常に最新バージョンだ。



マスター歌もうまい



ママさんは厨房で大忙し



ホルモン鍋



チヂミ

住 所：東京都新宿区歌舞伎町 2-21-3  
 (第六本間ビル4F)  
 営業時間：17:00 ~ 翌 5:00 (年中無休)  
 お越しの際はぜひ御予約ください  
 電 話：03-3202-3390 (17:00 ~ 5:00 まで)  
 予約受付携帯電話：090-3220-4572 (24 時間)  
 メール：king-master@cam.hi-ho.ne.jp  
 ホームページ：<http://www.246.ne.jp/~hykw-a4/king/>  
 マスター：梁 仁(ヤン・イン)



本場韓国式ブルゴギ



7月3日に行われた korea-ml オフ会



康ママ、入口ののれんのところで

보말가나라 というものもある。これは針で身をほじくりだして食べるのだ。ちょっとめんどうだけれど、これがけっこうおつな味だ。

曜日によって、おすすめ料理がちがう。  
 ホワイトボードに「本日のおすすめ料理」が書かれてあるので、この中から選ぶとまちがいない。



갈치찜太刀魚チム



보말가나라 針で身をほじくって食べる



麦ごはんにかぼチャの葉っぱスープ

場所 大阪市生野区田島 1-8-15  
 営業時間 夕方 5 時 ~ 1 2 時まで。  
 定休日 木曜日  
 ママ 康 辛生  
 電話 06-6757-8377

# 恒例の焼肉 & 花火大会

## 8月21日(土) 淀川の河川敷



今日の料理長はファンさん



8月21日(土)夕刻、毎年恒例の焼肉 & 花火大会が、今年も淀川の河川敷で行われました。

当日の天気予報は晴れだったはずなのに外は雨。早朝に震度3の地震は起きるわ、それまでシトシトおとなしく降っていた雨が、午前8時を過ぎた頃から突然の雷と大雨に豹変するわ、びしょぬれで出社してくる社員の間から「今日は無理やで〜。」の声もチラホラ。

「社長、今日どうしましょう?」皆の心配をよそに、インターネットで天気予報を見ていた社長は「やる!」。

そんな社長の心意気が通じたのか、天気は徐々に回復し、お昼前にはまたいつもの強い夏の日差しが...

うわ〜、雨の後だけにチョー蒸し暑い〜。

午後5時半現地に到着。材料到着までボールで遊んだり、火の用意をしたり。本日の幹事は高允樹さん。ご苦労様です。材料が来て準備開始。川原を渡る涼風で炭に火がつき、早速焼肉の始まり。野外で食べる焼肉の味はまた格別。

社長の音頭で乾杯して、待ちかねたご馳走をビールと共にお腹に詰め込み始めた頃、遊び心がまたムクムクと湧いてきたのか、突然、隣でソフトボールの練習をしていた若者たちと試合をすることになり、暮れかかる夕焼けの中、大急ぎでプレイボール。ほろ酔い加減でだんだん見えにくくなるボールを、皆必死に追いかけて4回没試合終了。結果は4対4の引き分けに終わりましたが、いい汗をかいてまた焼肉にビールが美味しい。

日が暮れてお腹も一杯になったところで花火に点火。暗闇に美しい光の華があちこちに開き、黄さんが切ってくれたスイカも食べながら童心に戻った楽しいひとときでした。

今回はゲストとして読売新聞社会部記者の広瀬さん他、korea-MLのメンバー許さんとその友人が参加、またKBS元社員の方々も来られて和気あいあいと楽しい親睦会になりました。

皆様、おつかれさまでした。

(営業企画部 益田 治 記)



korea-mlの仲間



全員集合!

同じ英語でもご存じの通り、アメリカとイギリスでは発音が異なります。そして意味も全く異なる単語が沢山あります。

日本ではアメリカ英語が主流なので聞き慣れないものも有るかもしれません。

ここではAからZまでの日常生活でよく見られる単語を紹介します。

**Aubergine** なすび。米語ではEggplantが一般的。

**Boot Sale** いわゆるガレージセール、フリーマーケット。

**Chemist** 薬局、と言ってもお菓子から文具・衣類などの大抵の生活用品を扱っている。



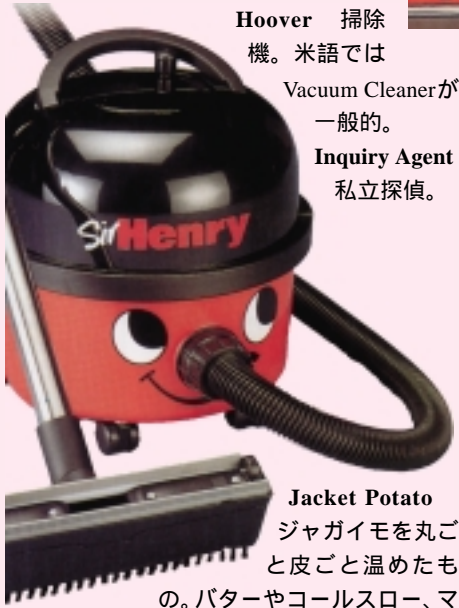
代表的な店に "Boots the Chemist" がある。日本ではPharmacyがよく使われているようです。

**Dustbin** ゴミ箱。米語ではGarbage Pailが一般的。

**Elastic Band** 輪ゴム。米語ではRubber Bandが一般的。

**Football** サッカー。英米間で間違いやすい例の一つ。ちなみに米ではSoccerで正しい。

**Ground Floor** 1階。米語では1st Floorが一般的。



**Hoover** 掃除機。米語では

Vacuum Cleanerが一般的。

**Inquiry Agent** 私立探偵。

**Jacket Potato** ジャガイモを丸ごと皮ごと温めたもの。バターやコールスロー、マカロニなどを上にのせて食べる。ジャガイモの主流な食べ方ベスト3の一つ。

**Kettle** 電気湯沸かし器ポット。小型なので沸くのが早い、蓋を開けて中を見ると、英

国独特の石灰水のため、中で白い固まりがこびりついているのが難点。これは洗っても無駄なので、そのまま使うのがベスト。この石灰水だからこそ紅茶も美味しく飲めるとか。



**Loo\*** トイレ。Lavatoryもよく使われる。

**Mackintosh** レインコート。Macとも書きま

す。最近ではあまり聞かないようですが。

**Nick\*** 盗む。

**Oxbridge** 有名な2大学を合わせてこう呼びます。

**Porridge** オートミール。大抵の人は砂糖やジャムを入れて食べるようですが、私は塩を

ニー訃りから来た言葉。本当に感謝する時は、やはりThank Youを使うべき。

**Underground** 地下鉄。米語ではSubwayが一般的。

**Voucher** クーポン券。米語ではCouponが一般的。

**Washbasin** 洗面器

**Yorkshire Pudding** 週末などにローストビーフと一緒に食べる習慣がある。プディングと言っても甘いお菓子ではなく、バターで出来たパイとパン生地の間くらいなもの。

**Zebra Crossing** 横断歩道、シマウマの柄から由来。

\*は非常に口語的な表現

初めて英国に着いた夜、レスト



ランのメニューにBlack Puddingという名を見つけました。プディングと聞くと日本で言うプリンのような物をすぐ連想してしまうため、美味しそうだと思い頼んでみたら、なんと豚の血で出来た真っ黒なソーセージだったことがあります。大失

敗。味は想像におまかせします。

確かにプリンなどのデザートの意味でもあるので英国に行ったときは要注意です。ちなみにYorkshire Puddingはソーセージでもデザートでもありません。あしからず。

入れて食べるのが一番美味しい。

**Queue** 列。郵便局やバス停などで並ぶ時に使います。Are you in the queue?で「並んでますか?」という意味。

**Quid\*** 1ポンド(英国貨幣の単位: £) 普通はPoundと言いますが、この言い方もよく使われています。



言いますが、この言い方もよく使われています。

**Rubbish\*** ゴミ。

**Sweets** キャンディー。お菓子やデザートなどもこう呼びます。

**Ta\*** ありがとう。元々はコック



### 編集後記

入社して、はや1ヶ月が過ぎようとしています。今までは出来あがったものを「わあスゴいなあ」と思って読むだけだったのが、今回社長直々の指導の元、Windows上で2ページを製作することになりました。Wordで作られた文章をLANで受け取り編集するの

ですが、日本語・韓国語・中国語の文章が画面上で面白いように自由自在に操れるのに驚きました。いやあ、コンピューターってホントに便利ですね。次は人がアツというように編集ができるよう、しっかり勉強します。(営業企画部 益田 治)

### 製作メモ

使用アプリケーション

AdobePageMaker6.5J、Photoshop、Illustrator。

今回のWindows組版はりヨービの協力を得て、REONET500で行いました。

あと、このナルゲはアクロバットでPDFファイルにして、KBSのwebページにアップします。よろしければごらんください。

アドレスは<http://kbsjapan.com/pdf/pdf.htm>